

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：内野・五十嵐まちづくり協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成 30年 6 月 25 日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○自治会館などを開放し、世話役を配置して多種多様な催しを実施 ○内野駅前に、子どもから高齢者まで気軽に集える地域の拠点（居場所）を開設 ○地域住民の交流促進 ○地域全体で子どもたちの健全育成を推進	地域ふれあい事業の回数増加	★地域の茶の間の実施(各自治会) ★内野DE月見酒・ピアガーデンを実施(10/29・8/5) ★自らすめる健康づくり教室を開催(3/22)	★各自治会で週一・月一等の格差があるので今後も回数増加に努めていきたい。 ★内野まちづくりセンターや自治会会館を有意義に活用 ★盆踊りの普及と地域のコミュニケーションを図った。 ★参加者がほぼ同じ人なので対策が必要
	内野地区集会施設で、ミニコンサートなどイベントを開催	★シオラマ展示会を実施(10/7) ★内野盆踊り大会(7/30) ★内野まつり(9/16・17・18)★カラオケ大会(9/17)	
	内野盆踊り大会や内野DEアートなど地域行事を拡充	★餅つき大会(各自治会で実施 12月) ★虹の部屋(親子の居場所作り) 1回/月	

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○地域住民が日ごろから自治会役員や民生委員・児童委員と連絡が取れる関係を構築 ○防犯パトロールの充実 ○地域の安心・安全のため、セーフティスタッフの増員や防犯灯の増設	あいさつ運動や公園の清掃活動に積極的に参加	★地域の避難マップ製作ワークショップの実施	★各自治会とも積極的に取り組んでいるので今後も継続実施していきたい。 ★町内の危険箇所を確認して手すりを設置 ★防犯灯のLED化(予算が無いため徐々に取り換え)
	防犯パトロール強化月間を設定	★各自会場で夜間防犯パトロール実施(6月～9月) ★火の用心パトロール実施(7月～8月)	

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○各種事業への参加者がえるよう、地域住民への積極的な働きかけを実施	コミ協や自治会・町内会でまちに花を植える取り組みを推進。参加自治会・町内会の増加	★自治会によつては公園等に球根を植え町内で楽しんでいる	★ポスターを作成して周知(意識の向上につながった) ★今後も継続実施して参加者の増加に努める ★住民同士の連帯感が生まれてきた
	定期的な町内清掃活動の実施	★内野中の生徒と海岸一斉清掃の実施 (7/17) ★内野一斉クリーンデーの実施(6/11)	
	ごみの出し方の周知徹底について、自治会・町内会で繰り返し実施	★クリーン新潟推進委員研修会への参加	
	新川、広通川の美化活動を地域みんなで実施	★西川の土手歩道の草刈り(年2回)・・・隣接の自治会	

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○自治会・町内会の仕事はひとりに負わず、地域みんなで協力	自治会・町内会、民生委員・児童委員、大学などの情報共有促進	★内野まち協だよりの発行(年4回) ★定例会の実施(1回/月)で情報共有を図った。 ★月2回の回覧板での情報共有 ★班長会議等で周知	★町内の防災訓練へ大学生参加 ★まだまだ委員や有志だけの活動が多いので今後の取組が重要 ★何かの時は気安く手を挙げて皆で活動できる地域に取り組みたい ★最近では高齢化が進んで町内の班長等もできない人が増えてきている班が多くなってきている ★地域の情報が前に比べると自治会に入りやすくなった
	地域の情報は回覧板などを利用して積極的に住民に周知		
	自治会・町内会や老人クラブなどにおいて、ボランティアの募集・育成の取り組み強化		
	中・高・大学生を地域のボランティアとして積極的に活用		
	障がいがある人にも積極的に地域活動に参加してもらうことで、地域との接点を増加		

【スケジュール】 ①3月中旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月中旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：西内野コミュニティ協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成 30年 6月 27日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
<p>○コミュニティセンターや自治会館・町内会館、空き家などを活用し、気軽に集まれる交流の場の開設</p> <p>○みんながあいさつをする、笑顔で明るいまちづくりの推進</p> <p>○子どもから大人まで、住民が多く参加できる行事や活動を行い、交流と親睦を推進</p>	<p>老人クラブ、婦人部等と協力し、「茶の間」を増設</p> <p>西内野小学校「なかよし会」を中心としたあいさつ活動の展開</p> <p>コミ協活動としての盆踊り、餅つき大会の継続と地区の老人クラブ間の連携強化</p> <p>親子で楽しめるスポーツ大会等の開催</p>	<p>・10自治会/町内会中8自治会/町内会で開催中 「長寿クラブ」「新中浜茶の間」「火曜茶の間の会」「喜楽会」「明寿会」「体操茶の間」「広通江茶の間」「松葉会」「シルバーの会」</p> <p>・各自治会/町内会共「あいさつ運動期間」を決め役員、PTA、なかよし会が中心となり実施中</p> <p>・コミ協主催で「第29回盆踊り大会」(7/22)「第10回餅付大会」(11/19)「高齢者ふれあい日帰り研修(岩室温泉)」(10/26)</p> <p>・夏祭り「宝さがし」 子供の参加76名で盛況(新中浜) ・節分「豆まき大会」 参加子供に図書券贈呈(平和台) ・「ホーリング大会」(西が丘) ・「地引綱」(上原団地)</p>	<p>・概ね月1回(曜日指定)~2回程度実施している。(老人会が中心)</p> <p>・ストレッチ体操や認知症予防で「健康麻雀」「囲碁」「将棋」を行っている所もある。</p> <p>*課題として高齢化に伴い役員不足と参加者不足がある。</p> <p>*住民数の少ない自治会は他の「茶の間」に参加してほしい。受け入れる側の「茶の間」も環境作りが必要</p> <p>*各自治会/町内会の老人会連携強化を図るため上部組織として「西内野老人クラブ連合会」を立ち上げた。</p> <p>*マンネリになり参加者不足が懸念されるので絶えず新企画が必要</p>

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
<p>○災害時に要援護者を支援できる地域における体制づくり</p> <p>○隣近所で声をかけあい、高齢者や子どもを見守りを推進</p> <p>○防犯パトロールとともに危険箇所の点検を行い、地域の安全を確立</p>	<p>自治会、町内会単位での支援体制の組織化</p> <p>社協等との連携による見守りの実施(友愛訪問事業)</p> <p>防犯パトロール、老人クラブと連携した高齢者交通安全教室の実施</p>	<p>・各自治会/町内会単位で災害時要援護者を把握し支援体制一部済例「おたすけ隊」(要援護者、見守り、パトロール等17名)(新中浜)「支援隊」 全班38班長で組織化(平和台)</p> <p>・友愛訪問(にこにこ訪問)増強実施:新中浜22件</p> <p>・民生委員による見守り活動(友愛訪問):一人住いの高齢者自治会等</p> <p>・防災防犯部(コミ協)が全自治会/町内会から世帯数に応じパトロール隊員を要請し9月~11月(7人態勢6班で週2回 計18回)夜間</p> <p>・単独防犯パトロール実施(月1回:西が丘)</p>	<p>・明確になっていない自治会/町内会は完全組織化を図る。</p> <p>・民生委員が高齢になり交替者がいない。</p> <p>・例年好評を得ている。火災予防を兼ねて拍子木も鳴らしている。</p>

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
<p>○地域における一斉清掃や花を植える活動など、住みよく緑あふれる地域づくりの促進</p> <p>○ごみの分別方法を定期的に確認し、ごみステーションの美化を促進</p>	<p>緑化活動推進事業を活用した公園等の緑化</p> <p>自治会、町内会でのクリーンにいがた推進員制度の活用</p>	<p>・各自治会/町内会共期間を決め各公園、道路の一斉清掃実施(月1~2回、年2回)</p> <p>・新規に公園許可が出た。(西新町 中権寺ニュータウン)</p> <p>・各自治会/町内会共クリーンにいがた推進制度を活用している。</p>	<p>・公園清掃は班毎に清掃日を決め輪番制を採用</p> <p>町内の畑で芝桜を増殖させ公園内に移植した。(新中浜)公園に毎年ひまわり、チューリップ球根を植えている。(ひまわり)</p> <p>・公園愛護協会より団体功労者表彰受賞した。(五十嵐中島)</p> <p>・衛生部員(クリーン推進委員)が町内の123ヶ所の雨水枒内に蚊防除材を6月~9月の間月1回投薬(平和台)</p> <p>・5月に町内一斉トラクターによるアメシロ予防(上新町)</p>

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
<p>○広報紙の発行や掲示板の設置により、地域情報の周知と共有促進</p> <p>○コミ協、自治会・町内会と民生委員・児童委員、各種団体などの情報交換の場をつくり、連携を強化</p> <p>○町内・班での話し合いを活発にし、住民の地域活動への参加を促進</p> <p>○子どもと一緒に遊んだり、行事に参加したりするボランティアの確保</p> <p>○子どもの頃からボランティア活動に参加できる環境の整備</p>	<p>コミ協だよりや自治会、町内会だよりにより地域の情報を提供</p> <p>定期的に、夕映えの会など各種団体との情報交換を実施</p> <p>イベントの開催など地域活動の機会を提供</p> <p>地域教育コーディネーターとの連携</p> <p>西内野小学校の「西っ子広場」への参加</p> <p>祭り、茶の間の会、寺小屋など、子どもが参加できる行事の実施</p>	<p>・コミ協だよりを発行(年3回)し情報の提供実施</p> <p>・自治会/町内会単独の広報誌発行あり。「西新だより」年2回(西新町)「新中浜だより」年6回(新中浜)「西が丘かわら版」年4回(西が丘)</p> <p>・「夕映えの会」広報誌をコミ協を通じ全自治会/町内会に回覧イベント等の情報を提供実施</p> <p>・「ゆうえい会」に推進委員として参加(新中浜)(西新町)(平和台)</p> <p>・各自治会/町内会共各種イベントを開催している。</p> <p>・コーディネーターの要望で各種ボランティアが登録され教育等の補助を行っている。</p> <p>・各自治会/町内会有志のボランティア者が登録され各種の行事に参加</p> <p>・各自治会/町内会共こども中心のイベントを実施</p>	<p>・回覧物の情報が多くて見ていない世帯が見受けられる。配布物が余って返却される。回覧するのに時間が掛かり過ぎ。</p> <p>・「夏祭り」「夜店」「敬老会」「餅つき大会」「新年会」「地引綱」</p> <p>・「むかしのあそび」コマ回し、けん玉、おはじき、お手玉等</p> <p>・「新1年生歓迎会」「6年生を送る会」(西新町)</p> <p>「夏休み寺子屋」「宝さがし」(新中浜)「クリスマス会」(第七団地)</p> <p>「子どもラジオ体操」「6送会」(広通江)「子ども模擬店」(中島)</p> <p>「子ども餅つき」「子ども新年会」(上原)</p>

【スケジュール】 ①3月中旬:コミ協宛て作成依頼 ②3月中旬~6月:コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末:区役所へ提出 ④7月中・下旬:推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：コミュニティ中野小屋

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成30年7月5日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○子どもからお年寄りまでが参加する多世代交流の場づくり ○隣近所同士の交流や助けあいの充実 ○老人会、婦人会などの活動の活性化	親子三代ふれあい会や瑞穂祭などの地域行事の継続	10/9 第67回 親子三代ふれあい会	○参加者は微増傾向であるが、出演者は高台には減少傾向、小学生との祖母と同時出演、光明か？ ○出品数は増加しているが、出品者は同じに燃費材料 ○バス路線のルートから、バスの利用は不可、ルート変更が望まれる ○自治会内の活動で終わっている、役員の交代等も必要
	集会所等を活用したお茶飲み場の開催	10/22 第12回 立席秘密	
	友愛訪問活動の活性化		
	買い物の手伝いなどの生活支援	○買物通院などは家族間で対応している	
	各老人クラブの連携促進	○北区老人クラブの南橋築	

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○消防団活動の活性化 ○高齢者や子どもの見守り活動の推進 ○地域における小学生の放課後支援を充実 ○不審情報等の速やかな伝達	地域と民生委員・児童委員、消防団との連携した防災への取り組み、情報共有	○学校、地域団体との連携による防災活動、教員研修の実施	○中学校の生徒にスタッフとして活動、指導には2人3人で行う ○効果は大まかに、他、避難所では、マンパワーの不足の問題 ○親類関係の絆が強く、2017年の不足の問題 ○現状では少ない ○少子化、スタッフの増えなど ○頭出し込みより、利用者は増加しており、運営スタッフの充実が課題
	新聞販売店と連携した高齢者の見守り活動	○見守りなどは血縁者の対応している	
	学校と連携した交通安全街頭指導の実施	○交通安全、みまも隊の強化	
	ふれあいスクールやひまわりクラブへの協力	○小瀬子クラブ、笠木小ふれあいスクールの充実	
	セーフティスタッフ活動の強化		

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○老人憩いの家（明和社、横尾社）や集会所の活用 ○高齢者が外出し、交流できる場づくりの促進 ○各種サークル活動との連携 ○公共交通機関整備への働きかけ	健康教室、健康体操、ダンベル体操など健康づくり活動の実施	○学校、公民館、保健センターなどと連携して開催	○大極拳、口腔保健講座など開催 ○ゴミ拾いメインに、西川の美化と行っ、高齢者が多く、持続性の課題 ○内野～赤坂～中野小屋の循環ルートの望ましい
	カラオケ大会などのイベントを実施	○西川の清掃	
	西川の清掃活動への積極的な参加を呼びかけ		
	内野四ツ角を経由する区バスの運行を要望	○バス路線の見直し	

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○学校や農協、福祉施設など各種団体との連携強化 ○自治会活動の活性化、情報発信強化 ○農業地帯であるため、後継者、担い手の育成	各種団体責任者の集いの開催	○各種団体責任者の集い	○直面する課題の提起、共有には重要とされています ○アグリパーク、県立植物園見学と実施、次年度は中野地区のメモリアー施設の見学予定 ○各種の作業を通じて、老若の交流の場になっている
	自治会長研修会の開催	○自治会長研修会の実施	
	農作業体験会の開催	○農作業体験、イノシシの実施	

【スケジュール】 ①3月上旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月上旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

コミ協名：コミュニティ佐湯

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成30年5月 / 日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○学校開放や地域施設を活用し、地域住民の交流推進 ○高齢者や子どもたちの茶の間、居場所確保 ○地域活動グループの確保	学校やメイワサンピアとの連携	地域交流、施設の利用等有志による声かけ	習慣、慣習、伝統行事を次世代に伝え残す為の活動に関する事の意義は大きい コミュニケーション、趣、愛らしさ、思いやり、心の為の環境づくり場が作れるは最善最良
	ソフトボール大会など、スポーツ大会の開催	年間を通して活動	
	老人クラブ、婦人部等と協力した茶の間、居場所の開設	各地区毎に企画立案、催事実施	
	自治会・町内会の集会所、公民館・公会堂を有効活用	若男女の幅広い交流、参加の推進	

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○防犯対策を検討 ○交通事故や犯罪増加のため、防犯灯、信号機、歩道など、施設整備と環境整備を拡充 ○被災者や避難者の受け入れ施設、住居の検討、確保	高齢者や子どもたちの見守り隊の実践	課題の解消、改善の取り組み、具体的行動	人の固定化、能確保、課題解消と特定の人の負担はかかるが有効 公益性、生命、人権の保護から安心、安全の組織、人達りは不可欠で有備無憂である
	夜間パトロールの実施	各地域で実践	
	災害避難所マップの作成、配布	地域貢献、防災、就化、安心、安全と	
	地元消防団との連携、消防団活動への後方支援	多岐に渡りやっている	
	セーフティスタッフの体制強化		

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○地域外の人のごみ捨てを防止する環境づくり ○自治会と学校で協力、連携したクリーンアップ活動の推進 ○高齢者の交通手段を検討 ○古くからの地域行事、慣習（慶弔や地元の確認）を通じてつながりや交流を促進 ○健康寿命をのばす予防事業などを展開	不法投棄、地域外の人のごみ捨てに対する地域での監視強化	コミュニティ・自治連、自治会、団体、マシンの作業	課題は理屈に絡んでいく元のお悩み状態 景観保持と清掃の必要、広域で実施の限界 バス利用の必然性、認知度、費用効果、路線、コスト 課題解決、展望が明確になるは改善に向かう
	地域の老人クラブや親子で歩道等の環境整備	実施、景観保持	
	佐湯のクリーンアップ活動の継続	利用促進、有益性、利便性をアピール	
	バス路線拡大の要望を継続		

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○広報活動の活発化による情報発信の充実 ○定期的に各種団体との情報交換を実施、連携の強化 ○赤塚・みずき野・四ツ郷屋の各地区から担い手を発掘、確保 ○今のつながり「向こう三軒両隣」＝地域ネットワークの継続	コミ協や自治会・町内会の広報紙による地域情報の発信	情報の発信、周知は広報紙、回覧等	地域の環境改善質的向上、交流、疎通は深化している、地区の特徴、独自性は明確 地域が持つ歴史、史組 枠組の中、相違点があるが、協調性、方向性 未来像は其有可能
	広報紙の全世帯配布（年4回）	提供	
	コミ協の会議などで、地域の課題を話し合いながら、団体間の連携を強化	地区毎に主催、年間を通して活動	
	イベントの開催など地域活動の機会を提供し、またボランティア協力者を募集	地域の現況把握、自治会員としての認識、理解を深める	

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：坂井輪中学校区まちづくり協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成30年 6月30日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況（H29）	成果・課題等
○地域包括ケアシステムの構築とその取り組みの推進 ・高齢者への見守り・支えあいネットワークに構築 ・高齢者の孤立・孤独死の防止 ・認知症対策の推進	自治会館・公民館等を利用し、地域の茶の間の開設	福祉部が直接自治会長宅を回り現状把握に努めると共に、各地域の茶の間にも参加し融和を図った。	新たに地域の茶の間を立ち上げに向けて準備が進み効果が図られた。自治会長の1年交代、自治会館が無い等の問題をどの様に解決するかが今後の課題。
	さかい輪ふれあい収集事業	高齢化や核家族に伴い、家庭ごみの搬出が困難な世帯が増えており、今年度よりチームさかいわ、チームもぐらの2チームでゴミ収集を行った。	高齢化により利用者が増加傾向にある。平成29年度から日常生活支援事業として新たな体制づくりを行い2チーム編成として取り組み対応している。
	友愛訪問員の拡大	三者合同研修会（民生児童委員、友愛訪問員、自治会役員）を年1回開催し、各自治会の現状、問題点の発表を行うと共に講師（西区健康福祉課、坂井輪診療所、社会福祉協議会）を迎え意見交換をする中で問題解決に取り組んだ。	三者合同で取り組むことにより課題が解決できるとの思いが熟成されつつあるが、地域課題を三者でどのように連携し対応して行くか、そのシステム作りが今後の課題。
	介護予防リーダー研修 認知症などの問題解決プロジェクト結成		
○子育て支援の充実と地域子育てネットワークの構築	地域と学校との連携によるあいさつ運動の展開	地域の小中学校と連携し年2回（6月・10月）あいさつ運動を月間と位置付けて街頭に立証しあいさつを交わす運動を展開した。	各学校の先生方の指導のもと、地域の方と子どもたちが街頭に立ち自分から自然とあいさつできるような雰囲気が出てきている。あいさつ運動を継続し地域の絆を深めていきたい。
○女性の力を結集し地域課題の解決	地域ふれあいの場所開設等支援事業	新潟県立大学准教授 小池由佳氏招き、「地域における子ども食堂の役割」をテーマに子ども食堂シンポジウムを実施した。	実践事例現地研修の開催によって、女性支援隊メンバーへ子ども食堂開設の重要性の共通理解を得られた。子ども食堂の開設の可能性や地域の方々へ必要性の周知を図ってきたが、今後の実践活動については、事業主体を固めることが重要となっている。

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況（H29）	成果・課題等
○交通安全運動の推進	高齢者向けに反射材の配布	夜光反射材とその効果を記したチラシを配布した。	反射材とチラシの配布は好評を得た。継続実施し普及を図る。
	交通安全運動期間の積極的参加，街頭指導	春夏秋冬の各期に街頭指導と広報を実施した。	坂井輪地区の人身事故は減少した。
	道路等の交通安全点検事業		
	地域の安心安全・命を守ろう推進事業	（26年以降実施）安全の目印になる「のぼり旗」を通学路及び生活道路に設置した。	交通安全意識の高まりに効果が得られた。継続実施する。
○防災組織づくりと防火・防災訓練活動の推進	自主防災組織づくり支援事業	自治会役員研修と防災訓練を行って防災意識の必要性和組織づくりの啓発を行った。	自治会単位ごとに地域防災について少しづつあるが理解をしてもらっているように感じる。
	自主防災合同訓練・自治会単位防災訓練開催	防火防砂及び自然災害等に対処するため、避難場運営/AED実施/炊出し訓練を行った。	自然災害等に備えるために多くの地域住民の参加を得て、避難場運営/AED実施訓練をおこなうことにより防災に対する意識が高まった。
	自治会単位の防災マップ作り	自治会役員研修会等で、防災マップの啓発を行った。	取り組状況がやや弱いと感じられる。
	坂井輪レスキュージュニアチーム育成講座	大小規模災害時に対応できる人材育成として、中学生及び小学生（高学年）を対象に新潟西消防署の指導の下、レスキュージュニアチーム養成講座を行った。	講座を受講した中学生は、災害訓練を体験し、万が一の時は訓練を生かしたい。防災に対する意識高揚とその重要性と高める。
	子どものための安全教室	消防・防災活動機関の施設と活動実態、その役割などを見聞学習し身近な防災を考える機会となった。	子ども自身の防災についての意識の醸成が図られ、また地域における防災活動の可能性をそれぞれが持てるようになった。
	高齢者に対する「火の用心」一声運動	各自治会の福祉担当者を集め、高齢者に関する講演会を行うと共に、研修会を行った。	三者合同研修会のグループ討議では、高齢者に対する考え方が徐々にであるが理解れているように感じる。
	災害時要援護者に対する支援活動		
○防犯ボランティア活動等の推進	西警察署との連携による振り込め詐欺・悪徳商法等の未然防止啓蒙活動の実施	ゴールデンウィークや夏休み中の「子どもを守る防犯パトロール」の実施。寺尾駅前、新大駅前の自転車盗難防止及び商業施設の車上狙い防止パトロール及び防犯チラシ配布。高齢者対象の特殊詐欺被害防止講習会とチラシ、ポケットテッシュペーパーの配布を行った。	自転車の無施錠数は減少した。防犯漫談で楽しく防犯意識を高めることが出来た。坂井輪地区の詐欺被害額は減少した。今後とも工夫を凝らした指導を継続する。
	防犯巡回パトロールの実施		

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況（H29）	成果・課題等
○地域と連携して地球環境の保全や、環境美化活動を推進	美しい坂井輪づくり環境美化活動	歩道に花を植栽したプランターを、春、秋それぞれ設置歩道の草取り等清掃活動をしながら、地域の方々から見て、楽しんでいただいた。	県道44号線の歩道に、花を植えたプランターを設置し、地域の方々に、「歩道に花のある生活の快適さ」に気づいていただくことができた。協働活動は一部の自治会にとどまり活動の輪を広げる。
	坂井輪を花で飾ろう推進事業	花のある豊かな生活環境の確保及び花植えに於いて学童、保護者、住民の共同作業により地域コミュニティの意識を図る。	昨年より新大Wホームの学生さん達も加わり、小中学生の参加も多く、また、地域住民との共同作業によりコミュニティ意識が高まった。今後も幅広い年代から参加者を募り明るく楽しい生活環境を作る。
	堀などの泥上げ	西区一斉クリーンデーや環境美化活動への参加してもらうため、各自治会にPRを行った	地域自治会の高齢化などによる後継者不足が深刻で、活動にアンバランスがみられ、取り組みが周知されていない実態がある。今後の自治会組織体制づくりが重要である。
	ゴミ不法投棄防止の看板設置		
	西区一斉クリーンデーへの参加	約半数以上の自治会の参加があり、普段は清掃のできない側溝の周りや道路上の草刈りを行う。	子どもや大人同士が一緒になり、作業することでコミュニケーションが図られ、住民同士の面識も図られる作業であり、今後も継続する。
○文化、スポーツの活性化	寺尾地下道に子どもの絵画を展示	地域の保育園、幼稚園、3学校の小中学生の絵画を寺尾地下道に展示し、園児、学童の成長と絵画による触れ合いを行った。	地下道を利用する住民から子どもたちの成長、また、絵画展示の保護者・提供者から絵画制作への励みとなっている。絵画展示により環境整備が図られた。
	家族交流・多世代間交流スポーツの普及事業	グランドゴルフ等のニュースポーツを紹介し体験やミニゲームで交流を図った。	子どもどうしや家族で多数参加された、十分に交流が図られた。また、地域のスポーツ普及に役立った。
○健康づくりへの啓発活動	さかい輪健康づくりフェスタの開催	主として高齢者を対象に医療に頼ることなく健康な心身を維持し、安心して暮らせるために、日常生活で取り組める健康教室を開催。	参加者も多くなり、健康に留意する意識向上者が多くなってきた。回を重ねることにより参加者の中で男性が増えてきたことは大きな成果である。

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○自治会同士の連携・協働・ネットワーク作りの推進	自治会長・役員研修会の実施	避難所設営に関する考え方を主テーマに、災害時における各自治体の避難体制を醸成することを目的に行った。	地域の防災問題点、課題等を知り、また防災意識の啓発と地域防災活動に積極的に参加を促す効果があった。今後も更なる防災意識の高揚が求められる。今年度は東日本大震災被災地への視察も計画しより一層の意識を高めたい。
	三者合同研修会の実施	地域環境を構築するため、友愛訪問員・民生児童委員、自治会長等役員を中心に「超高齢者社会における地域の支え合い」をテーマに講演会及び研修会を行った。	自治会役員・民生委員・友愛訪問員・行政機関の役割がある程度周知されたように感じる
	行政機関との情報意見交換会実施	各行政関係機関から安心安全にかかわる事業活動の情報をいただき、参加者からの意見・要望等を議論し、各行政機関と各自治会の連携を深めた。	自治会役員・行政機関・その他関係機関との意見交換を行い各自治会役員の意識の醸成と地域活動への積極的参加を促す。
	高齢者を支える担い手育成	地域包括ケアシステム構築に向け、地域の福祉活動を円滑に進めることを目的に高齢者を支える担い手育成研修会を行った。	研修会では参加者より多くの意見が出され、地域包括ケアシステムに関する理解と関心が深まった。高齢者を支える人材育成は急務と思われる。
○コミュニティ活動の啓発	広報紙「さかい輪」とかわら版の発行	広報誌を随時発行し、まちづくり協議会でやっている地域活動の関心と理解を深めてもらう。	地域住民に坂井輪中学校区まちづくり協議会の活動内容について関心と理解が深まり、各事業への参加者が増えている。
	広報紙「大道」発行	地域の中心的な役割を担う自治会役員に対し、連合自治部活動の理解と啓発のため広報紙「大道」を発行した。	各自治会役員を含め地域住民にまちづくり協議会の活動の理解を深めると共に、地域課題等について促す効果があった。
○地域産業活性化と住民への生活情報提供	地域で頑張る産業マップづくり	地域内で頑張っている日用、雑貨店等にスポットを当て、坂井東地区と、新通地区に分けたマップを作成して地域住民にその店舗の特徴を周知し、活性化を図った。	掲載した店舗や地域住民のこのマップに対する反響が大きく、また感謝されており、地域内産業の活性化が図られたと思われる。今後も職種別に作成していく予定

【スケジュール】 ①4月下旬：コミ協宛て作成依頼 ②4月下旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成30年6月30日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○みんなが集まれる集会所の開設 ○地域での見守り体制を強化	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会の地域の茶の間開設の増加(13ヶ所) まちづくり協議会では毎月2回地域の茶の間「よりどころ」・「らっくり」を開催 頭の体操、「短歌教室」開催 民生委員と自治会長の交流がはかれるようミーティングを重ねる 	<ul style="list-style-type: none"> 29年4月から毎月地域の茶の間「らっくり」終了後、地域包括支援センターからの出張で広報、地域からの相談も受け付けている 地域の茶の間でチェックリストなどして、介護予防につなげている 29年11月に各自治会福祉部に集まって貰い福祉課、社協、包括支援センターから情報を提供、自治会の課題等収集、課題の共有を図った 民生委員との連携を強固にすべく話し合いを重ねた 	<ul style="list-style-type: none"> 茶の間が増え各自治会での交流が増えている。 包括支援センターの広報活動で理解を深め重要性を認識理解も進展しているように思える 民生委員と福祉について意見は合致、民協と自治会との相互理解と協働を推進したい 高齢者見守り支援が潤滑に構築出来るよう民生委員、自治会と協議を重ねていきたい

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○明るい町内づくり ○下校時間帯の子どもの見守り活動を強化	<ul style="list-style-type: none"> 一斉クリーンデイ推進 町内パトロールの推進 小中学生の登下校時の安全見守り 坂井輪小自主防災会主催 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉クリーンデイは校区内の通学路の点検、ゴミ拾いを89名で実施。また、1年を通して各自治会で実施 交通安全部が小・中・保育園児に交通安全標語を募集→優秀作品を表彰→学校等巡回掲示 交通安全部・セティー・ボランティア・坂井輪小交通安全推進協議会が一体となり登下校の安全に取り組んでいる 地域の自主防災組織の活性化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉クリーンデイ実施後数日、美化はたもたれているがすぐ悪化する。市報などで地域全体に呼びかけて欲しい。 交通安全の成果が地域に広がった まちづくり協議会のユニホームを自治会長希望者に配付、ユニホームを着ている子ども達も安心している。まちづくり協議会の啓蒙にも役立つ。 スクールゾーンへの進入車は多い。何とか遮断出来ないか セティースタッフの増員を希望 今まで以上に防災に対する意識の向上に努める

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○あいさつしやすい地域づくり ○高齢者の健康増進とコミュニケーションづくりを推進	<ul style="list-style-type: none"> てくてくウオーク 餅つき大会 西川で七夕祭り 西川を描く写生会 思いやり集会実施(いじめ問題) 	<ul style="list-style-type: none"> 毎年4月西川沿いのさくらの下をウオーク さくらの開花に合わせて地域住人の健康増進、啓発に努める 学校、育成協、地域が協働、まちづくり協議会の一大会イベントとなっている。 西川の大切さを学びながら地域の川として認識して貰うよう七夕・写生会など実施 中学校と育成協が協働で実施 	<ul style="list-style-type: none"> 年々参加者が増加(29年度は230名が参加、多くても困難な状況がある) 小学生、中学生、大人みんなが楽しんだ。 世代を超えて地域の児童、住民同士の交流を深める事が出来た。 地域からの応援もあり継続したい。 「いじめ」にたいする認識を共有できた

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○まちづくり協議会の事業を広報 ○まちづくり協議会の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 自治会長会議の場を広げる 外郭団体との交流を深める 広報紙は年2回発行 	<ul style="list-style-type: none"> 地域をブロックに分け、少人数での会議、打ち合わせを実施する。 各自治会の専門部別に集まって貰い情報を共有する。 広報紙は全世帯に配付することで活動を報告でき、知り得た情報を広く共有できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 何処の自治会も悩みは同じでブロック別の情報交換会を継続して欲しいという要望が多かった 同じ悩みを共有することで自治会役員の意識の向上に努めたい 広報紙は役員、スタッフの顔写真を多用することで読み手に興味を待ってもらい距離感を縮める事ができた。 記事を読んで貰うため1面には魅力ある記事掲載が必要

【スケジュール】 ①3月上旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月上旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名:東青山小学校区コミュニティ協議会

平成30年4月作成

〈基本目標1〉 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況(H29)	成果・課題等
○学校の地域連携室や空き店舗、空き家等の活用による地域の拠点、集会所づくりの促進 ○町内祭りや子供会行事の開催により、地域の活性化、多世代交流を促進	イオンコミュニティ広場の活用(地域の人たちが集う憩いの広場) ・絵手紙、絵画教室、おもちゃ病院等	未就園児親子の居場所の「東青山すくすく広場」「いこいの広場」「絵手紙の集い」絵画教室の「楽画季の会」「おもちゃ病院」の開催や、「らっくり(包括支援センター)」「社協のひろば(西区社協)」等の協力の他、各自治会の総会・会議等に活用した。	「東青山すくすく広場」は、原則月4回(43回)開催し延べ1,370名の親子が来場。「絵手紙の集い」「楽画季の会」では、秋に合同作品発表会を開催し地域の方約200名が来場。「おもちゃ病院」は年3回開催。11月「らっくり 介護の日 フェスタ」を共催し支援。来場者200名以上
	東青山ふれあい祭り	第12回「東青山ふれあい祭り」を協賛し、支援した。	「東青山ふれあい祭り」は、延べ参加者2,850名。当コミ協は「駄菓子屋」を担当した。
	東青山ふれあいもちつき大会	「東青山ふれあいもちつき大会」を計画したが、残念ながら大雪の為に中止となった。	計画したが、大雪の為中止となった。理由は違うが2年連続中止になった為、30年度は開催を早めて、12月8日に開催予定
	お茶の間サロン	当コミ協内一部自治会が、イオンコミュニティ広場を開催場所として活用し「お茶の間サロン」を実施。	「いこいの広場」にて、将棋や碁を用意して楽しんでもらった。コミ協内の1自治会が「お茶の間サロン」を月1回定期開催。

〈基本目標2〉 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況(H29)	成果・課題等
○向こう三軒両隣の交流を深め、地域による安否確認等の促進 ○夜間における安全対策の強化	防犯協・自主防災会との連携	東青山小学校区自主防災会及び東青山小学校と連携して、「第12回地域・小学校合同避難訓練」を実施	10/13「第12回地域・小学校合同避難訓練」を実施した。参加者は児童を含め685名で実施した。
	防犯パトロールの実施	東青山小学校区防犯協会と連携して、防犯パトロールを実施 「校区内安心安全児童見守り隊」活動の支援	年3回の防犯パトロールを実施。(7/21・9/1・12/22) 日頃の防犯パトロール活動に対して、新潟県警及び西警察より感謝状の贈呈を受けた。
	交通安全街頭指導の実施	毎月15日朝の街頭指導の他、「地域・小学校合同避難訓練」後、帰宅時の街頭指導	東青山小学校区交通安全推進協議会・児童見守り隊と連携して交通安全の見守りを実施
	地域安全マップの活用		
	防犯灯の増設	各自治会ごとに増設やLED灯に取り換え等をした	
	声かけ運動の実施	各自治会ごとに実施	

〈基本目標3〉 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況(H29)	成果・課題等
○地域における環境美化活動など、地域活動の推進 ○車中心から歩行者中心のまちづくりへの促進転換 ○自転車歩行者道を活用した健康づくり	花いっぱい運動の実施(公園・道路等)	「まちの緑化運動」推進キャンペーンを実施。当コミ協内のいくつかの自治会で「花いっぱい運動」を実施	当コミ協内のいくつかの自治会で、年間を通じて「花いっぱい運動」を実施
	古紙集団回収の実施	各自治会ごとに実施	
	ゴミの不法投棄や犬のフン放置などに対する注意喚起看板の設置	「西区一斉クリーンデー」を実施。同時に「蚊の撲滅運動」を展開 「犬の糞対策」のキャンペーンを実施	8/8「西区一斉クリーンデー」を実施。参加者184名(小針中学校生徒も地域貢献として参加) 「犬の糞対策」のキャンペーンを「コミ協だより」に掲載等
	健康ウォーキングの実施		

〈基本目標4〉 みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況(H29)	成果・課題等
○民生委員・児童委員と自治会との連携強化	コミ協・自治会・民児協等の連携、地域合同情報交換会の実施	地域合同情報交換会実施	6/15地域合同情報交換会を6月に63名参加で実施した。
○回覧板、掲示板等の有効活用による広報活動の強化	「コミ協だより」を年数回発行 講演会、講習会の実施	「コミ協だより」を発行 文化講演会・コミ協役員への講習会(健康寿命の延伸)を実施	「コミ協だより」を、定期号2回・臨時号を発行した。
○コミ協、自治会役員のレベルアップ研修やボランティア講座の充実	掲示板の整備 自治会長連絡会議の開催(年2回)	自治会長連絡会の開催	防犯掲示板の整備は、申請を行ったが申請団体多数の為、不交付 年2回実施(6月・12月)
○子ども達や学生をはじめ、多くの人の力を取り入れ、地域活動を活性化			「西区一斉クリーンデー」に小針中学校生徒も地域貢献として参加

コミ協名:五十嵐小学校区コミュニティ協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助け合う地域づくり

平成 30 年 6 月 28 日

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
地域の茶の間を増設	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会ごとに1か所ずつ設置できるよう推進した。 ○自治会館で月1回、茶の間を開いているが、回数を増やしてほしいと要望があり検討中である。 ○毎週火曜日に「チュウリップの集い」を開催している。約男女30人が参加した。 ○民生委員宅やコミハウスを利用し食事会や四季の催しを行った。 ○10年以上継続して「おしゃべり茶の間」を開催している。 ○水曜日に麻雀、囲碁、手芸の会を開催している。 ○敬老会に西警察署員から特殊詐欺についての講話をお聴きし、昼食はみんなで楽しく交流を図った。 ○老人クラブと連携し、茶の間活動が活発化するよう取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「かみまち広場」は10年以上の活発な活動が認められ市社協から表彰された。 ○茶の間の「雰囲気が良い」と次第に参加者が増えてきた。 ○認知症サポーター養成講座、折り紙講座、かるた会等を開催した。 ○マンネリ化しないよう新たなテーマを発掘し、住民に周知し参加者増を募る必要がある。 ○男性の参加が少ないので検討が必要だ。 ○居場所作りは高齢社会には必要なことだと実感した。自治会では高齢者が多くっており、家庭に閉じこもりがちな生活をしている一人暮らしも多い。空き家を利用して居場所作りが出来ればと考えている。 	
空き家の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家を集会所、(茶の間の会場)として借入たく、家主と交渉した。 ○利用者が回数を増やしてほしいとの要望があり空き家を探している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家の借り入れを交渉しているが、家主は売却を希望しているため難航している。 ○空き家を借りることができた町内もあるが、なかなか難しい町内もある。 	
五十嵐フレンドスクール、ひまわりクラブ、ふうせんクラブ、五十嵐スポーツ振興会など各種団体と地域が協力して実施	<ul style="list-style-type: none"> ○五十嵐フレンドスクール、ひまわりクラブ、ふうせんクラブは民生委員の協力をいただき活動している。 ○町内のスタッフが4～5名、五十嵐フレンドスクールへ参加し協力している。(子ども部や民生委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ○五十嵐フレンドスクールのボランティア募集、ふうせんクラブへのお誘いを積極的に呼びかけたいと思っている。 	
地域の祭りやサークル活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○毎年夏休みに入ると7月に町内夏祭りを開催する。300人の参加があり大盛況だった。 ○地域の公園やコミュニティハウスを利用し公園祭りや豆まきを行い三世代交流事業を実施した。 ○子ども会と共催でパーベキュー大会、餅つき大会、収穫祭、いも煮会を行い三世代交流を図った。 ○日帰り旅行、ふるさと歴史探訪、敬老会、新春祝賀会を開催した。 ○自治会内にある学園の祭りを住民に周知し、学園と地域の交流の場を設けた。 ○自治会主催で納涼夏祭りを開催。新大のダンススクールを招き交流を図った。 ○東五十嵐夏祭りでは子ども構きぬたや、お神輿で町内を巡回した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各々のサークルは活発に活動しているが新規会員が増えない。 ○学園祭の参加を呼びかけ、親睦を深めることが出来た。 ○各種イベントの参加者も増え、三世代交流事業の場として活用されている。 ○交流事業終了後、子どもに限らず住民が互いに声を掛け合う様になり、世代間交流の成果が大であった。 	
坂井輪まつりへの協力	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会では駐車場の管理及び交通整理に協力し、民生委員はフリーマーケットの販売委員として参加した。 ○前夜祭や当日の「テント張り」の手伝いや、集会場を控室として提供した。 ○交通安全協会西支部に協力した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今後も継続し協力していきたい。 	

<基本目標2> 安心・安全暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
あいさつ運動、声かけ運動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○新入学時や交通安全週間(街頭指導)に合わせ、コミ協で用意した、あいさつ運動の「のぼり旗」を設置し通勤、通学者に声掛けを実施した。 ○小・中学生の通学時間帯に「あいさつ運動」を行い、近所の方(向こう三軒両隣)へは積極的に「あいさつ運動」や「声掛け運動」を呼びかけた。 ○小学校の仲よし子供会に参加し「交通安全」や「あいさつ運動」を推進した。 ○警察官同行で夜間防犯パトロールを実施した。 ○下校時の「児童の見守り」を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの方から挨拶されたり、話し掛けられることがあり、顔見知りになることにより積極的に「声掛け」が出来るようになった。 ○常日頃、誰もが気軽に声かけが出来る「安心安全な街づくり」を目指したい。 ○通学路の積雪や凍結が一番心配であった。 	
気づき運動(近所の様子への気配り)の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者、一人暮らし、障がい者等の世帯を定期的に訪問した。(時には、民生委員が同行するケースもあった。) ○要援護世帯への除雪ボランティアを募集した。 ○「ほどよい、向こう三軒両隣」を築くことを「茶の間の努力目標」とし住民へ周知した。 ○班ごとに福祉支援員を配置し、見守り、気づき運動を実施し、情報交換会を年3回行い見守り活動に役立てている。 ○積極的に訪問はしないが気になるケースは近隣で気配りし見守っている。 ○ゴミ出し支援を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○訪問活動は、対象者から大変よろこばれた。 ○60歳代の孤独死があった。1週間、気がつかなかった。今後は「気づき運動」の強化が必要と考える。 ○ボランティアにより要援護世帯の除雪をすることが出来た。 ○道路、玄関先の除雪、強風による飛散物撤去の手伝や、樹木の剪定をした。クリーンにいがた推進員の知名度向上となった。 ○除雪隊を西区に登録した。体制の整備が必要となる。 ○高齢者を見守る為、社協が進めるゴミ出し支援や友愛訪問活動を広げたい。 	
セーフティスタッフ活動(登下校時の見守り等)の活発化	<ul style="list-style-type: none"> ○セーフティスタッフと見守り員が組み、毎日、登下校の見守りを行った。 ○春、秋の交通安全運動で立哨し、児童へ声掛けを実施した。 ○毎朝、4人のセーフティスタッフが小学校入口交差点で交通指導と見守りを実施した。特に今年は雪による通学路確保にも尽力した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校の保護者からセーフティスタッフや見守り員へ感謝の言葉が多く寄せられた。 	
地域の安全マップの活用、情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ○五十嵐小学校の町内子供会に参加し、自治会内の危険箇所を子どもから教えてもらい大変、参考になった。 ○自治会の住宅地図を作り各世帯へ配布し、情報の共有を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○狭い道路や坂道が多い為、通行車両にスピードダウンをお願いした。 ○自治会では毎年、住宅地図を配布している。30年度は消火栓の位置を記載し、積雪時に地域住民が積極的に消火栓付近の除雪を行えるような体制づくりをしたいと考えている。 ○1月の豪雪時、組長を中心として除雪を行い通学路の確保に努めた。 	
防災訓練への積極的な参加	<ul style="list-style-type: none"> ○コミ協主催の防災訓練を実施し、会場近隣の自治会等へ参加を呼び掛けた。 ○自治会独自で防災訓練を毎年実施している。 ○近隣の自治会と合同で防災訓練を実施した。 ○西区総務課職員や消防団員の指導のもと防災訓練を実施した。 ○夏の炊き出し訓練を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣の自治会と合同で防災訓練を行ったことで、参加者も増え防災意識が高まった。 ○避難訓練等に取り組みたいと思っている。 ○参加の第一歩が踏み出せないでいる。(消極的である。) ○世帯の少ない自治会のため、コミ協主催の防災訓練に多数参加するよう努力したい。 ○秋の「火災予防運動」では子ども会、保護者、役員による「火の用心」の巡回を実施した。30年度は春季も実施する計画である。 ○防災訓練の内容がマンネリ化をしないよう計画したい。 	

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別取り組み状況について

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況(H29)	成果・課題等
○寺尾中央公園をはじめ、公共移設の有効活用	朝のラジオ体操、健康体操の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休みに入ると各自治会は公園や商店、銀行、学校等の駐車場等を借り、ラジオ体操を行った。(実施する前に公園の草取りや、草木の消毒を行い環境整備に努めた。) ○未就学児童から高齢者まで大勢の方々へ参加を呼び掛けた。 ○寺尾中央公園を毎朝、ラジオ体操や健康体操等に利用しているグループがいくつかある。利用時間等でトラブルにならないよう見守った。 ○夏休み期間中のラジオ体操を地域の公園で育成部が中心となり行っている。公園の使い方について注意喚起文で周知した。 ○自治会によっては毎月2回、公園の草取りを行い「住民の憩いの場」として利用している。 ○又、夏休みにはラジオ体操会場に利用した。 ○コミ協はコミュニティハウスを利用し、自ら続ける健康習慣「健康へのナビガイド」を開催し「住民の健康づくり」に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○未就学児童から高齢者まで多数参加している地区もあるが、子供だけで大人の参加が非常に少ない地区もあり、地区によりバラつきがある。(大人の参加率を上げる工夫が必要だ。) ○ラジオ体操の企画、運営を育成部が担っているが共働き世帯には負担が大きいのではないかと感じた。育成部員だけでなく、自治会も協力する必要があると思っている。 ○育成部員のおかげでスムーズにラジオ体操が実施でき、非常に助かった。 ○寺尾中央公園の朝のラジオ体操や健康体操は利用者が増加している。お互いが時間をずらし利用しているため、トラブルもない。夕方になると散歩やウォーキング等、大勢の方々を利用している ○憩いの場の確保や公園愛護の観点から、毎月、自治会内の公園の草取りを行い、気持ちよく利用していただけた。 ○町内会員全員での除草、清掃活動を行い、町内の交流の場となり大変良かった。今後も継続して実施していきたい。 ○常日頃、公園内を綺麗に清掃しているせいか、安心して子供を遊ばせている様子が見受けられた。
	利用に当たってのルールづくり、環境整備(ボール遊びや自転車乗車など、禁止されている使用方法を可能とする時間帯を設定)	<ul style="list-style-type: none"> ○広範囲の市民が利用する場所であるため検討中。 ○公園の花いっぱい活動に協力した。 ○住宅街の公園利用については、近所に迷惑が掛からないように指導した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中央公園は多くの人が訪れ利用するので、危険箇所や壊れている遊具がないか注意し見守った。 ○住宅街の公園は狭いため、近所に迷惑が掛からないよう声掛けを見守った。 ○寺尾中央公園内でボール投げが出来るよう許可してほしい。

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報交友とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況(H29)	成果・課題等
○自治会・民生委員・児童委員・学校・行政・社協などとの連携強化	定期的な連絡会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> ○コミ協では役員会を月1回、理事会(自治会長)を隔月1回開催し、総会は民生委員、保護司、商工振興会、各福祉団体等の参加を得て開催した。 ○役員会を偶数月、役員と班長の合同会議を奇数月に開催している自治会もあるが、年度初めの総会しか開かない自治会もあった。 ○執行部役員はコミ協主催の各部会に出席し、情報を住民へ周知した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○会議を定期的で開催するようになり自治会運営が円滑になった。 ○定期的な会議を開催し自治会活動が活発化するよう仕向けた。
	自治会単位(班、組などの小グループ)での話し合いの実施	<ul style="list-style-type: none"> ○民生委員が自治会の理事や友愛訪問員を兼ねている為、意思の疎通が上手く出来た。 ○総会、役員会議、班長会議を開催した。 ○班会議を積極的に開催するよう提案した。 ○自治会内の喫茶店を会場として役員会、班会議を開いた。(和やかな雰囲気ですぐ良かった。) ○役員会に民生委員の出席を依頼し情報を共有することが出来た。 ○班毎に福祉支援員を設け見守り、気づき運動を実施し、情報交換を年4回行い活動の活発化を図った。 ○重要案件があるときしか班会議を開かなかった。 ○自治会の会議は、年1回の総会のみであった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会と西区社会福祉協議会間の連絡調整を民生委員にお願いし、問題解決に結びつけることができ、助かった。 ○定期的に班会議を開くことが出来なかった。班会議、部会員会議を細目に開催することが、自治会運営の円滑に繋がる。今後、計画的に開催するよう努力したい。
	地域の広報誌発行	<ul style="list-style-type: none"> ○コミ協だより「砂丘」を年2回、コミ協ミニ通信を年4回発行した。 ○自治会だよりを年3回～6回発行している自治会もあるが、1回の発行もない自治会もあり、バラツキがあった。 	○町内の状況(動き)が把握でき、隣り近所へ声が掛けやすくなった。
	地域住民の知識、技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会活動を活発化するため、自分の技能を登録していただく「マイスター運動」を呼びかけた。 ○「おしゃべりお茶の間」の一環としてパソコン教室を毎月4回開催した。 ○チョットしたお手伝い出来る人を募集した。 ○コミ協役員に歩道整備事業や道路拡張整備事業に協力して頂き助かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○手芸と小学生向け学習講師の登録があった。今後は利用者を募集し地域活動に結びつけたい。 ○パソコン教室で自治会行事のポスターを作成し掲示板に貼り、住民へ周知した。 ○1月の大雪後、除雪車の手配を行い、上手く除雪をしてもらって、大変喜ばれた。
	地域活動の担い手の発掘	<ul style="list-style-type: none"> ○役員や班長は輪番制である。次の当番へ早めに準備をするよう促し、引継ぎがスムーズにいくよう自治会活動の理解を求めた。 ○友愛訪問員及び、クリーンにいがた推進員の拡充に取り組んだ。 ○海岸清掃、海岸遊歩道の除草作業に参加した。 ○自治会活動を活発化するため、「青年部」の設立に取り組んだ。 ○諸行事を行うと色々な特技を持っている方を発掘でき、自治会行事の充実が計られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○役員は輪番制なので時間をかけて担い手を育てることが難しい。 ○自治会の三役になる人がいない。輪番制にしたらフルタイムで働いている人や、高齢者が役員になることがあり、活動に大きな制限を受ける事があり困っている。 ○30年度は海岸清掃、海岸遊歩道の除草作業の参加者数を増やしたい。 ○30年度に設立する「青年部」は新しい発想で、より活動が活発化するような、担い手の発掘をしたい。 ○自治会の各部会が連携を密に取れるよう努力したい。 ○老人会や育成部と連携を取り合い、自治会活動を活発化したい。 ○昨年設立した青年部のおかげで町内行事がスムーズに実施でき良かった。 ○町内の高齢社会について、対策を話し合わなければと思っているが、班同士の話し合いすらなく、互いに孤立したままである。班よりもっと小さいグループから始める必要があると思うが、何か始めようとする負担感が強くなって、みんな尻込みする傾向にある。

- ・茶の間の開催は、21自治会の内9自治会が開催している。
- ・茶の間を開催したいが集会場がない、コミュニティハウスは遠すぎ不便である。空き家に限らず開催場所を早く見つけたい。
- ・回答 自治会 21/18

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：真砂小学校区コミュニティ協議会

平成30年6月15日作成

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○認知症の人を支えるしくみづくりの推進	認知症サポーター養成講座の開催	・ス自協会で開催	・翌年度に開催自協会で自協会、今後開催促進
○女性の地域活動参加を促進	自治会役員等の女性登用	・コミ協副会長も登用、自協会長も	・各自治会女性役員登用が増えている
○高齢者や障がい者の買い物支援の検討	向こう三軒両隣の助けあい活動	・自治会、民生委員、防災隊、隣人による連携の活用	・組織化した自治会は少ない
	支援組織（グループ）の立ち上げ	・「お助け隊」(自治会実施中)	・引き続き人材センター設立に向けて検討実施
地域の商店への働きかけ（宅配）	・コミ協人材センター設立に向けて自協会が中心実施		
		・商店の対応状況把握	

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○安全な通学路の確保（防犯、交通安全）	子どもたちを気づかい見守る人を育成	・学区防犯交通安全会・PTA・交通安全連隊協会の巡回 ・交通安全会による見守り、交通安全班の巡回 ・交通安全班の巡回、防犯パトロール実施	・交通安全、防犯対策に成果を上げている。引き続き実施
○自主防災活動の活性化	防災研修、活動交流の推進	・各自治会自主防災会の防災訓練を実施	・引き続きコミ協での地域防災対策事業を実施
○防災に対応した生活道路の整備	自治防災組織の立ち上げ（未組織の自治会）	・コミ協で避難経路現地調査、体験訓練実施	・引き続き要望
		・狭い市道、幅員や交通、歩道除雪の改善を要望	
○空き家、空き地問題の対策検討	道路整備や空き家対策の行政への働きかけ	・空き地、空き家対策を早く要望	
○除雪要援護世帯への支援	除雪ボランティアの組織づくり	・除雪ボランティア6自治会組織	・組織化した自治会は成果を上げている。組織化を促進

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○スポーツを通じた健康増進（介護予防を若い世代から）	健康増進体操等の講座を推進	・コミ協スポーツ会によるスポーツ健康教室の開催	・成果が明瞭であるため引き続き開催
	健康講座指導者の育成	・コミ協福祉会でも健康増進講座を開催	
○高齢者の引きこもり対策	自治会単位で地域の茶の間を開設	・コミ協人材センター設立に向けて検討中	・引き続き検討中
	高齢者が集まって、運動や趣味活動、交流ができる場づくり	・地域の茶の間5ヶ所開設	
		・地域の社会福祉センターと連携して、役割分担してコミュニティセンターの建設を早く要望中	・引き続き要望

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○地域課題の把握	住民アンケートの実施	・平成26年度に実施。これを参考に「真砂地区活動5ヶ年計画(平成27～31年度)」を策定	・活性化5ヶ年計画の推進
	座談会の開催地域を増加	・真砂コミ協10年を記念して開催	
○小・中学校、高校、大学や病院、福祉施設等と地域のネットワーク強化（多世代交流含む）	自治会と民生委員・児童委員の情報の共有化	・自治会と民生委員の情報の共有と連携を図る	・引き続き連携を図る自治会がある
	地域と学校や病院、福祉施設等の共催事業の開催	・小・中学校、明倫短期大学との情報交換、事業の開催	
○地域の生活環境の改善	ゴミの出し方、ペットのマナー等のルールの徹底	・真砂地区区コミ協で「ゴミの出し方」を2月号、24号で発行	・30年度より更生委員会、明倫短期大学、福祉施設との連携による情報提供の会
		・側溝清掃、海岸一斉清掃の実施	
		・コミ協生活環境委員会と大垣県環境協議会の開催	・福祉対策の進捗に不満足、保安環の里山植栽、保樹も継続実施

【スケジュール】 ①3月上旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月上旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

コミ協名：青山小学校区コミュニティ協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成30年 6月 20日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○交流拠点の充実 児童、障がい者、高齢者など地域住民の交流の場としての茶の間を充実	既存の茶の間との連携強化 有明福祉会館、青山コミュニティハウス、マナの家、個人宅など7か所	①有明福祉会館(なごみの部屋・月2)らっくり・月1)②コミハ(さくら会・毎週) (関屋堀割町・月1) (青山さくら会・月1) (プランタン・月1) (キノウカイ・月1) ③マナの家(たまり場・週1)④他、自治会・個人宅等7か所・・・開催状況把握と順次広報紙に内容を掲載開始した	コミ協として活動内容や対象者等の把握だけでなく、地域の人々に情報発信や参加増加へつなげる組織としての課題を実感している
	新たな茶の間の開設に向けた活動の展開 空き家、空き店舗の活用	① 赤ちゃんと母親を対象に月一回「おしゃべりカフェ」 ② 浦山自治協で月一回「いきいき健康づくり」の集い定期開催	① 250組の親子さんが参加、だっこボランティア含め総数651人 遊具類や飛び出しバリアーなどの整備にも対応開始 ② 毎回20人以上の参加者で、年間250人超の来館 健康寿命延長を目指し、簡単に出来るヨガ体操を主に実施した 月一回開始を要望により月二回開催を次年度の課題としている
○日常生活における助けあい活動の強化	助けあい組織の確立	① 要援護者の自治会ごとの情報把握と支援体制づくり ② ほとんどの自治会で実施している ③ 友愛訪問世帯が増加している ④ ボランティアスタッフ・民生児童委員・婦人会等による訪問活動	新設の茶の間拡大と既存の茶の間の参加人数の増加
	地域に根差した活動の展開		友愛訪問活動と自治会・包括支援センター・区保健師・民生児童委員・社会福祉協議会との連携への具体的な対応 助け合いの具体的な対応の情報共有化

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○災害時における対応の強化	自治会、民児協などとの連携強化	自治会長・町内会長はコミ協内役員と兼務しており、民児協とは、福祉会館活動を含め普段時から連携を維持	今後も、有明・浦山の両自治協及び民児協との連携を軸とした展開が重要と認識している
	青山小学校との連携強化	青山小学校PTA及び青少年育成協議会とも、学校行事を含め連携の強化を維持	災害、防犯想定のみならず、ふれあいスクールや学校行事とのかわりを更に持ってもらえるかが課題
	防災訓練の継続実施 有明自主防災会、浦山自主防災会	例年9月に、有明地区(青山小学校)・浦山地区(ふれあい公園)と会場は分かれるが、青山小学校と連携し防災訓練を実施している。	これからも継続していくが、今後中学生や高齢者(要援護者)や一人暮らしの参加をどのように仕掛けていくか、小学校児童と訓練対応等の課題は残っている
○交通安全活動の推進	通学路の安全確保	セーフティスタッフや各自治会のPTA父兄の通学時や退校時の安全指導と見守り活動	危険個所の対応は、課題が多く、セーフティスタッフまかせにならない危険個所対策を含め継続的持続的な対応をしていきたい 危険交差点の信号機の改良依頼を小学校、育成協と連名で西警察署に申請した
○防犯活動の啓発	防犯・交通安全体制の拡充	防犯ポスターや交通安全週間の旗を掲げて啓蒙活動 集団下校訓練(青山小)への地域見守り活動参加	各自治会単位の防犯体制が主体 コミ協組織として、出来る範囲の協力を継続していく
○日常の見守り活動の推進 認知症高齢者や幼児・児童などの見守り活動の充実	茶の間の充実と拡大	「おしゃべりカフェ」や「いきいき健康づくりの集い」のように気軽に参加の確保	空き家対策を含め、身近でいつでもだれでも利用できるような地域の茶の間が理想である
	自治会、民児協、PTAなど地域組織団体との協力体制の強化	青山小学校のふれあいスクールや児童センターの児童の見守り活動は体制が出来ている	会長やスタッフの高齢化と民生児童委員を含め引き受けてくれる人材不足は全ての組織の課題である
	セーフティスタッフの活動推進	スタッフジャンパーや帽子等作成時の協力 広報面の協力	人的協力体制は難しいが、取り組んでいかなければならない課題と考えている スタッフ用帽子(防寒対応の厚手)を20個作成
	友愛訪問活動への協力 取り組み自治会への協力拡大	① 要援護者の自治会ごとの情報把握と支援体制づくり ② 友愛訪問世帯が増加している ③ ボランティアスタッフ・民生児童委員・婦人会等による訪問活動	活動の具体的な状況や問題点の把握及び情報の共有化が課題点

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況（H29）	成果・課題等
○有明福祉タウンや各福祉施設・医療機関との共生	施設及び地域防災訓練への参加協力	自主防災会主催の防災訓練にスピーカーやマイクまたは机等の側面支援	防災訓練の写真展や広報記事掲載で、例年どおり参加協力出来た
	福祉タウンとの連絡会、懇談会の開催	児童セーターとの意見交換や行事等の協力	イベントへの参加要請に対応できるような体制づくり
	有明福祉会館の活用	青山コミュニティハウスが浦山地区にあり、有明地区自治協の活動拠点として、重要視している	福祉部検討会や福祉講演会等、福祉部中心に活用できて良かった。これからも連携強化していく。
	有明福祉タウン行事への参加協力	有明児童センターを含め、各行事への共催と後援	浦山は青山コミュニティハウス、有明は有明福祉タウンの拠点として今後も活用 行事については、これからも相互扶助精神で
	有明ふれあい夏まつりの共同開催 有明福祉タウンとの合同行事	有明ふれあい夏まつりに浦山自治協も計画段階から参加協力	地域の世代間交流行事として今後も実施していく
○地域交流のためのイベント開催	世代間交流事業への援助協力 そうめん流しの実施	児童センターの児童や有明タウンの高齢者主体に、8月7日に実施	参加者の活況の反面、主催側の高齢化と準備面の負担増対策が課題
	有明地区ふれあいの集い、浦山地区ふれあいの集いの実施	有明地区：9月19日（火）有明園にて実施 浦山地区：9月25日（月）じよいあす新潟会館にて実施	有明地区は対象80歳から、浦山地区は75歳で実施 楽しめる敬老お祝い会としての内容面の充実
	環境整備活動への援助協力 関屋分水清掃及び花文字活動など	5月20日（土）に花文字花壇作り 7月30日（日）信濃川クリーン作戦を開催	花文字の植栽後の水やりや草取りの課題、信濃川クリーン作戦は自治会役員を中心とした人員が固定化しており、幅広い呼びかけ参加者の増加が課題

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況（H29）	成果・課題等
○情報共有のための地域ネットワークづくり	施設の広報紙などの配布・回覧	有明自治会8、浦山自治会13あり、青山コミハに各自治会ごとの設置棚があり、配布回覧依頼は容易	近所付き合いのツールになればと期待している
	自治会、民児協、高齢者・障がい者団体などの地域団体をはじめ、有明福祉タウン、青山小学校、青山コミュニティハウス、コンビニ、郵便局、薬局、新聞販売店、牛乳販売業者などとの連携強化	地域包括ケアシステムづくりに向けての確認段階	地域包括ケアシステム（案）の具現化への対応。自治会役員・福祉担当・民児委員・友愛訪問員・地域福祉活動関係者等の福祉関係者交流会の継続開催やこれからのネットワーク作りや連携強化が課題である 浦山地区自治協「いきいき健康づくりの集い」の月一回から月二回実施への検討
○広報紙（情報紙）の発行	コミ協だよりの活用	地域の行事や青山小学校PTA、育成協の活動や自治会・町内会の動向などをタイムリーに年三回広報を発行し、小学校区全戸に配布	興味を持たれる紙面づくりと、編集スタッフ後継者づくりが課題
	掲示（各種店舗の掲示コーナーの活用）	地区図書室を兼ねている青山コミュニティハウスに催事の都度、廊下に写真を掲示 行事ポスター等は、福祉会館や商店に依頼	行事参加につながったらよいがと期待している 今後もタイムリーな広報活動を目指す

【スケジュール】 ①4月下旬：コミ協宛て作成依頼 ②4月下旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

コミ協名：小針小学校区コミュニティ協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成30年6月28日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況（H29）	成果・課題等
○声かけや見守りの強化	隣近所と日頃のお付き合い	自治会活動に取り込みを推進中	毎年少しずつ成果が表れている。
○困った時に「助けて」と言える地域づくり	友愛訪問の立ち上げと実践を推進	民生委員、自治会有志の協力による友愛訪問箇所の強化	大部分の自治会に浸透しているが、一部箇所で取り組みがない
○多世代交流の活性化	多世代が交流できる行事の開催	自治会、コミ協、公民館活動等の行事情報提供している。	毎年活動に理解され参加者が増加している。
○地域の問題や困りごと相談	アンケート、意見交換会の開催（自治会単位）	コミ協自治会長会、部会開催などで課題の意見交換をした。	コミ協自治会長会、部会等で意見交換を行い対応している
○高齢者の交流の場を増やす	交流のための集会所確保	一部自治会集会所などで「茶の間」を開設	自治会、西区社協、包括支援センターで地域の「茶の間」開設
	老人クラブの加入促進	自治会老人クラブの活性化と活動促進を取組む	老人クラブが減少し、活動停止箇所が多く歯止めが利かない。

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況（H29）	成果・課題等
○空き家や空き地の対策	空き家・空き地マップ作り	一部自治会で作成済みであるが、コミ協において取り組み中	コミ協主体で30年度作成予定
○路上駐車防止や交通安全の取り組み	危険道路等の指導	登下校時の子ども見守り隊による活動及び自治会対応	子ども見守り隊の高齢化に伴う活動支援者不足
○地域防災力の強化	避難場所の周知と防災訓練の参加促進	コミ協主催の防災訓練、避難所運営会議等を開催	防災訓練、防災研修会等で防災力が強化された。
○ゴミ出しマナー違反の減少と対策	ゴミ置き場の定期的な実態調査と指導	西区一斉クリーンデー、ごみ問題研修会の開催	ごみ問題と地域美化の課題解決に向けた意識改革が向上した
	高齢者向けゴミ分別カレンダーを作成（行政へ提案）	研修会等で関係機関に要望した	30年度も引き続き関係機関に要望する。
○子ども達の遊び場の増設（屋内外施設）	公園の整備・充実を推進	関係機関に要望中	30年度も引き続き関係機関に要望する。

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況（H29）	成果・課題等
○みんながあいさつをする地域づくりの推進	積極的な声かけ・あいさつ運動は、子ども達と小・中学校と連携で実施	小針小中学校児童生徒が率先実践中	実践中で効果が出ているので、継続し励行を期待する。
○お互いの得意なことを出し合い、交流し、仲間づくりができる場の開設	机、椅子があればできる施設（公民館、公園等）	小針青山公民館に要請した	ロビーにテーブル、椅子が増設された。

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況（H29）	成果・課題等
○自治会、民生委員・児童委員、友愛訪問員、社協、包括支援センターと情報共有できるネットワークづくり	自治会に福祉部や友愛訪問制度を確立	自治会に福祉部、友愛訪問活動の組織化と活性化体制の確立	大半の自治会で理解され、取組みが見られた。
	適度なおせっかい	隣近所付き合いの必要性の理解を情報紙等で提供	自然災害等の発生で「近隣所付き合い」の意義が周知された
○地域のリーダーの人材育成	人材育成講座の開催	市役所、コミ協等の自治会長研修会の開催	市役所、コミ協で人材育成講座開催により強化を図る。
○災害時等に備えた情報の共有	避難所、避難経路の情報提供と連絡網づくり	新潟市などのハザードマップ配布による情報提供と周知	防災訓練、研修会等の開催及び情報で周知されている。
○地域の結びつきを強化（絆づくり）	イベント参加の呼びかけ	コミ協行事案内、自治会回覧等で周知	行事案内は、コミ協だよりや自治会回覧等で周知されている。

【スケジュール】 ①3月上旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月上旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：黒崎南ふれあい協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成30年 6月 6日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○だれもが気軽に参加できる機会の提供を推進 ○地域交流のきっかけづくりを推進	各地区の集会所や公民館などの活用	黒崎南まちづくりセンターを拠点に、ふれ協各自治会や各種団体の活動内容を周知・発信する資料づくりの場に活用したり、地域のお茶の間広場や黒崎南ふれあい協議会主催の輪投げ大会やフロアカーリング大会などの事業を実施する。	まちづくりセンター内設置の印刷機・コピー機等を活用して各団体の情報発信が活発化された結果、地域間の情報伝達が格段に向上して活性化が促進された。
	クリーン作戦、収穫祭、運動会、敬老会など、各種行事の活発化	西区一斉クリーン作戦や地域のふれあい運動会・農業まつりなどの各種行事を行い各地区の活性化を促進している。	拠点となるまちづくりセンターの利用が進んだ事により各種会合、行事等が予定通りに開催できる利点が生まれている。

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○地域の高齢者を見守るため、隣近所で声の掛け合いを推進 ○子どもの見守り活動の推進	地域でのあいさつ運動の実施	年々少子高齢化が進んでいる中で、当地域は農村集落で二世帯以上の同居住宅が多い事が幸いし、自治会等の取り組みが無くても自然発生的に声掛け運動が成されている。	農村集落で高齢者も自前の田畑を有しているので、枝豆収穫時期には近所の農家に手伝いに行ったり、家庭菜園等楽しんだりして元気で暮らしている高齢者が多い。
	まめっこクラブの活動を周知し、地域全体での見守りの実施	民生児童委員・木場交番等を含めた学校見守り隊を中心に活動している。	南小児童も安心して勉強や遊びを楽しんでいる。

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○隣近所で協力し合う地域づくり	クリーン新潟推進員を中心にゴミの分別方法やごみ出しルールの周知徹底を図っている	各自治会のクリーンにいがた推進員を中心に活動を行い、ゴミ出しルールの遵守に努めている。	活動を通じて違反ゴミや不法投棄の減少が進んでいる。
	集落内の私道除雪を地域の方が私物のトラクターで除雪を積極的に進め高齢者世帯等への除雪作業に協力している	農村地域で多世代同居等も多い事もあり、今年の大雪の際には農家所有のトラクターが周辺の除雪作業に努めている。	積雪時のトラクター除雪が進んでいるので高齢者からの意見要望や苦情等は少ない。

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○自治会の活動の積極的な広報 ○高齢者を地域でささえ合う体制づくり	回覧板の活用	各自治会で全戸配布資料や回覧資料を黒崎南まちづくりセンターで印刷して情報を積極的に発信する活動を通じて、地域の情報収集・情報伝達が深まる活動を促進している。	地域の情報を出来るだけ多く発信することが出来た。
	高齢者のみ世帯への声かけ、見守り活動	地域の自治会役員、民生児童委員等を通じて高齢者の見守りを実施している。	年々高齢者が増加している中で、当ふれ協では特に問題となる事例が少ない。

【スケジュール】 ①3月中旬：コミ協宛で作成依頼 ②3月中旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：大野校区ふれあい協議会

平成30年 6月29日作成

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○自治会・町内会が中心となり世代を超えた人たちが集える場を開設 ○サークルや団体同士が交流できる行事の実施 ○自治会内の有志やサークル活動などを自治会、町内会で支援する仕組みづくり ○近所同士のあいさつや声かけの活発化	餅つき大会、納涼祭、盆踊り大会、賽の神などの地域行事の開催	さいの神、夏祭り、餅つき大会、盆踊り等地域行事の開催は各自治会でも活発に実施。	子どもから高齢者まで多数参加し、地域のコミュニケーションの場となる。 ゲートボールの練習から仲間づくりへと広がる。
	お茶の間サロンの増設		

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○子どもや高齢者の見守り活動の推進 ○民生委員・児童委員、自治会・町内会における要援護者情報の把握の促進 ○自主防災組織の立ち上げ、強化、定期的な会合などによる防災意識の醸成	学校と連携したあいさつ運動の実施	高齢者の見守り活動の推進、独居高齢者・空家の増加	民生委員不在の自治会があるので、各自治会に配置してほしい。(平成27年、29年も要望) } 継続
	登下校時の安全パトロール、交通安全指導の実施	登下校の安全指導(月1回実施)	
	防災訓練、避難訓練の実施	防災・避難訓練の実施(年1回実施)	

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○地域における生きがいづくり、健康づくり活動の推進 ○自治会・町内会が中心となって、地域環境の美化運動などを促進	健康講座、健康体操教室の開催	高齢者対象の健康づくり講座の開催(年1回実施) スポーツ振興会・ふれ協共催のスポーツ教室(年2回)	年々参加者も増えているが、さらなる参加促進の企画・広報に工夫が必要。 小地域(自治会単位)における居場所づくりの促進を図るための戦略もはかる。 自転車道共用開始によるさらなる環境整備(草取り等)が喫緊の課題となっている。
	老人憩いの家の活用促進	地域包括センターと共催、健康教室開催	
	公園や空き地、道路(側溝)などの清掃活動、美化運動(花植えなど)の実施	通学路・ランニングロードの清掃活動を実施 自転車道の草取り、危険箇所の点検	

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○自治会・町内会の広報活動を活発にし、地域行事の宣伝を強化 ○区役所や区社協、地域の各種団体などと情報交換を行い、連携を促進 ○自治会・町内会が主体となり、担い手の発掘・育成を促進 ○障がいがある人でも地域活動などに参加できるよう環境づくり	ふれ協だよりの発行	広報誌の年1回作成 全世帯へ配布	早期事業計画の作成広報により参加促進
	回覧板等の有効活用	各事業のお知らせで活用	年間事業として定着し毎年実施。
	自治会・町内会と民生委員・児童委員との情報共有	スポーツ振興会と協力して事業を開催	生涯スポーツへの取り組みとして黒崎中学校校区でフロアカーリングの研修会を開催。
	PTAと連携した地域全体での子どもの健全育成	学校へ登録して活動	PTA・学校・地域の連携強化
	個人の特技、技術を活かしたボランティア活動		ボランティアへの参加協力依頼の強化・広報

【スケジュール】 ①3月上旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月上旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：立仏校区ふれあい協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成30年 7月 6日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○立仏小ワンダーランドに、地域の高齢者からの参加を促進 ○高齢者の活動の中で、子どもたちも参加できるイベントを実施 ○親子の居場所づくりの推進 ○集会所、公民館、公園などを気軽に利用できるようにし、地域住民の憩いの場として有効活用 ○清掃活動等への参加を多くの人に呼びかけ、地域のふれあいの場として活用	立仏ふなっ子の活動	毎月1.2.3.4.月曜日 4回開催 AM10:00~12:00	子ども31名 保護者255名 参加 40回開催
	立仏小ワンダーランド事業	毎月水、土曜日開催 平日 PM3:00~5:20 土曜日 AM9:00~11:20	参加者数2070名 1年生52名 2年生54名 3年生58名 4年生271名 5年生165名 6年生118名
	地域の茶の間事業	地域の公園清掃は定期的に行われいます、	確実に実施されている。
	地域の公園清掃等	立仏小学校で指導されており、又各自治会でも推進しております	体育祭の高校生が良かった。 各自治会とも参加者多く、317名が参加されました。
	あいさつ運動を地域全体で推進	8月6日(日) 実施	
	西区一斉クリーンデーへの積極的な参加		

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○各自が隣近所とのコミュニケーションを密にし、特に高齢者や子どもたちへの声掛けを積極的に実施 ○セーフティスタッフの増員を図り、児童の安全を推進 ○年間を通じて夜回りができるような体制づくりを協働で推進 ○大人も子どもも防災意識の醸成を促進	通学時交通指導の実施	交通安全推進員による毎月100名交差点の街頭指導及び子ども見守り隊による毎日交差点の交通指導見守り。	無事故で長期実施の成果と思えます。
	防犯灯の点検や不法投棄の見回り	生活環境部会による夜回り点検を行いました。 12月26日(月)	不届けなし 2名参加
	生活環境部会による定期的な点検活動	生活安全・交通安全講習会 2月2日(土)	21名参加
	総合防災訓練、あそぼうさいの実施	3年防災訓練 あそぼうさい 9月10日(日) 6月16日(土)	450名参加 15名参加

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○高齢者等の「見守り」推進 ○生涯学習の推進 ○遊歩道の利用促進	友愛訪問、声掛け活動等の推進	民生委員連帯委員会と地域老人会等で行っている。	
	施設めぐりや健康教室等の実施	町市政教委…旧町民会 天寿園 新町南消防 7月14日(金) さわか健康体操 6月30日(土) 自らの健康づくり教室 7月5日(火)	27名参加 23名参加
	遊歩道を利用したウォーキング等のイベント		

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○地域住民が自治会の活動、行事に積極的に参加し、住民同士のコミュニケーションを深めて情報の共有を促進 ○屋間在宅者による情報共有や連携の仕組みづくりの推進 ○若い世代や子どもたちに積極的に働きかけ、早い時期からの地域活動、福祉活動への参加促進 ○自治会役員などへの積極的な女生登用。また女性からも積極的に参画できる雰囲気づくり	幅広い年代層を対象とした、餅つき大会等の交流イベントへの企画・実施、参加呼び掛け	教育部による ソフトボール大会 7月6日 159 202 292 団子作り「じわ」料理作り 9月24日 300 「学校へ行こう」を以て学童(1と2)を5-7-300) 10月4日(土)	34名参加 47名参加 40名参加
		各自治会で新企画 100名大会 夏祭り大会 豊神餅つき大会	各自治会で交流の場として開催され親睦はあっております。

【スケジュール】 ①3月上旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月上旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：山田校区ふれあい協議会

平成30年6月22日作成

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○子どもや高齢者、地域の人たちの居場所や地域集いの場として、学校施設や公民館、憩いの家、空き家などを有効活用（使い勝手のよい利用） ○自治会ごとに高齢者、子どもが気軽に参加できる場所を確保（一部の地域では毎週木曜にいきいきサロンを開催）	既存サロンの継続と、新たなサロン（多世代交流や高齢者対象）の立ち上げ 老人会や子育て世代（親子）の協力を得て実施	・一部地域では、毎週木曜日に“いきいきサロン”開催 ・ふれあいチャレンジカップ大会 ・親子ものづくり大会 ・カラオケ発表会	・何時も同じメンバーで気心が知れ、和気あいあいの会。 ・フランス生まれの積み木（カプラー）で親子で楽しみました。 ・将棋、オセロ、ゲートボールビンゴの対戦を行った。 ・親睦、融和と健康寿命延伸、認知機能の維持向上をめざして、自慢の歌を披露しました。

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○空き家とその周辺環境の整備を検討 ○地域見守り隊を結成し、危険箇所など地域の定期的な見回りを強化 ○自治会・町内会の広報活動の強化により、防犯、防災意識の啓発促進	自治会・町内会が中心となって継続 防災、救護訓練（要援護者マップ等利用）の継続実施 避難完了の目印の設置などの協議、検討 セーフティスタッフを随時募集し、体制を強化	・自治会が中心となって、常に意見交換等を行っている ・下校時の見守り隊の強化（セーフティスタッフ） ・防災訓練の実施 ・通学路の点検・整備	・自治会役員、消防団、民生委員、老人会や住民の意見を受け入れる体制に心掛けている。 ・交通安全推進協議会、学校の後援会、PTA、ボランティアの協力がより一層必要。 ・年一回は防災訓練を実施していますが、今年は新潟市西区避難マップ（自治会防災会）を作り、全戸に配付しました。（柳自治会） ・大阪北部地震が起き、ブロック塀など通学路の危険箇所の点検整備が急がれます。

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○自治会・町内会が中心となって、ごみ出しルールの意識向上や不法投棄の防止を強化 ○クリーンアップ活動を持続的、計画的に実施 ○公園で子どもたちが遊べる環境を検討	ごみ分別講座の開催 月1回程度、自治会・町内会内の点検、清掃を実施	・ごみの分別を自治会で常に周知、徹底と不法投棄の防止 ・ごみステーションの毎日清掃と不法ごみの確認作業 ・「西区一斉クリーンデー」に参加 ・毎月公園の草取りと清掃	・道路端のごみステーションで、不法投棄が無くならない ・資源ごみの回収は、自治会の収入源となり、力を入れている。 ・「やなぎ公園」の草取りと清掃を月の第一日曜日。

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H29)	成果・課題等
○自治会・町内会における地域の課題や情報の周知と農村部との連携強化 ○子育て世代、若い世代とのコミュニケーションを構築し、地域の文化、取り組みなどを次世代に継承 ○様々なボランティアに関わる人材の発掘と社会参加 ○見守り、支えあい活動などの体制づくり	地域の子供祭りなどへの参加 ボランティアに関する情報提供を推進 高齢者の孤立、悩みに対する相談支援者などを自治会・町内会で協議検討し、相談会を開催	・われら信濃川探検隊（ウオーターシャトルに乗って） ・地域芸能保存事業 ・PTAバザー ・動く市政教室（福祉バスで行く）	・子供達は学校でも独自に信濃川のことを、調査・勉強し、その成果を発表して、参観した人達を驚かせた。 ・太鼓・笛を何十年も引き継いで、地域独自の芸能となるよう、子供たちは頑張っています。 ・昔遊び部屋、紙芝居、リサイクルバザー、など地域との交流活動が行われた。 ・NHK、県庁舎、日報メディアシップを見学。

【スケジュール】 ①3月上旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月上旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告